

ISO9001認証取得

2008年7月31日現在

- 組合員世帯数 9,758世帯
- 出資金総額 214,461,000円
- 一世帯平均出資金額 21,977円
- ※住所、氏名を変更された方は組織部までお知らせください。

☎5680-7166

東京葛飾医療生活協同組合

〒125-0063葛飾区白鳥2-3-6 ☎(5680)7166 FAX(5680)7167

下千葉診療所

☎3602-2254

かなまち訪問看護ステーション

篠原診療所

☎3697-0765

水元訪問看護ステーション

金町診療所

☎3607-5124

ヘルバーステーション虹の輪

ほりきり訪問看護ステーション

☎3690-7112

☎5629-7229

健康のはぐま



白鳥支部の平和のつどいは七月二十六日の土曜日に葛生協センターホールで開かれました。加太こうじさんの原画による紙芝居「ガラスのうさぎ」が渡辺千子さんによって演じられました。時おり、話をしました。

白鳥支部の平和のつどいは七月二十六日の土曜日に葛生協センターホールで開かれました。

下千葉支部

白鳥支部の平和のつどいは七月二十六日の土曜日に葛生協センターホールで開かれました。加太こうじさんの原画による紙芝居「ガラスのうさぎ」が渡辺千子さんによって演じられました。時おり、話をしました。

篠原支部

白鳥支部の平和のつどいは七月二十六日の土曜日に葛生協センターホールで開かれました。加太こうじさんの原画による紙芝居「ガラスのうさぎ」が渡辺千子さんによって演じられました。時おり、話をしました。

4つの支部で平和のつどい開く



広島での被爆体験を語る石田治正さん



3つの支部で講演した荒川庸生さん



3つの支部で講演した荒川庸生さん

3つの支部で講演した荒川庸生さん

ピース・ア・クラシヨン ヒロシマに参加して

核のない世界 を引き継ぐ責任

「継承と警鐘」ヒロシマのねがいを世界へ（核兵器と戦争のない二十一世紀）をテーマにした二〇〇八年八月八日ヒロシマに参加しました。多くのことを学びました。



葛生協から参加した4名の代表団

広場では作家の早坂暁氏が講演中でした。ご自身の被爆体験を未来を作る子どもたちにならんとしても伝えたいと想いで「ヒロシマ原爆の絵日記」を編集していました。秋葉広島市長の挨拶など、核兵器廃絶を子供たちに託したいと結んでいます。

年八月八日は大変感謝を受けました。「被爆後」八十三年

を迎えても尚、未だ被爆が長年にわたり過小評価されている。とりわけ心の傷が深刻であります。

高齢化する被爆者の治療も

年かけて原爆体験の精神的影響等を調査するとして「核兵器廃絶」を二〇二〇年までに実現するために、〇八四年四月核不拡散条約を補完するヒロシマ・ナガサキ議定書を発表し、「核廃絶に至る道筋を具体的に提示したい」と述べました。

お二人の被爆体験も聞きました。自らの被爆と親兄弟の死と当時の状況を語り、思い出すのも辛い体験を話すことは勇気のいることですが、旅立った人々に申し訳ない、二度と自分たちが体験した悲惨な戦争が起きないことを願ってこれからも語り部を続けいくと話され

て位置づけたもので、年間の増資目標六千四百口を目指して取り組みました。そこで、できるだけ多くの組合員に参加

はいられません。袋町小学校や本川小学校、平和資料館、平和周辺の碑めぐり、広島行動全体を通じて次世代に核も戦争もない世界を引き継ぐ責任が私たち一人一人にあると思いました。佐々木正子

歩こう会総会

8月10日

今年で二十年、百九十六回目の例会を続けてきました歩こう会総会が、八月十日に第十九回総会を開きました。吉野五郎

はいられません。

平和を目指した運動をもつと行っていたな

ればの思いをめて

きました。吉野五郎

はいられません。

袋町小学校や本川小

学校、平和資料館、平和

周辺の碑めぐり、広島

行動全体を通じて次

世代に核も戦争もない世

界を引き継ぐ責任が私

たち一人一人にあると思

いました。佐々木正子

を引き継ぐ責任が私

